

講演会



「精神障害のある人への アウトリーチによる支援の実際と課題」

～地域での暮らしを豊かにするために～

精神障害のある人が「入院」という形だけに頼らず、地域で生活するためには環境やサポート体制をしっかりと整えることが大切です。

メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ院長で、精神科アウトリーチ医療のパイオニアである伊藤順一郎さんのお話と、ACT（包括型地域生活支援プログラム）や訪問看護などの実践報告から、精神障害のある人が地域生活を送るために地域には何が必要か、周りの人はどのように支えていけるか、考えます。

訪問での支援の意義や現状、今後の可能性について、また家族やピアスタッフが果たす役割について、講演とシンポジウムの二部構成でうかがいます。

地域づくりに関心のある人、専門職、家族、どなたでもご参加いただけます。

とき

2019年 1月12日（土） 13：00～16：00

ところ

朝日新聞東京本社 読者ホール(東京都中央区築地5-3-2)

講師

伊藤 順一郎さん（メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ院長）

岡崎 公彦さん（岡崎クリニック院長）

増子 徳幸さん（一般社団法人てとてリンクよこはま訪問看護ステーション副管理責任者）

大喜田 聡さん（医療法人社団宙表会相談支援事業所PHARE相談支援専門員）

佐藤美樹子さん（さいたま市精神障がい者もくせい家族会副会長）

参加費

1,000円

定員

100人（先着順）

Program プログラム

*プログラムは都合により変更することがあります

13:00 ~ 14:10

講演

「精神障害のある人へのアウトリーチによる支援
～実践の中で見えてきたこと」

▶ 伊藤順一郎さん

休憩

14:20 ~ 16:00

シンポジウム

「地域での暮らしを豊かにするために」

- ▶ 「ACTがもたらす変化」 岡崎公彦さん
- ▶ 「訪問看護で支える地域生活」 増子徳幸さん
- ▶ 「ピアスタッフに期待されていること」 大喜田聡さん
- ▶ 「地域での挑戦」 佐藤美樹子さん
- ▶ コーディネーター 伊藤順一郎さん

Profile プロフィール

伊藤 順一郎さん

精神科医
メンタルヘルス診療所
しっぽふあーれ院長



千葉大学医学部卒。旭中央病院精神科、千葉大学医学部精神科、国立精神・神経センター(現国立精神・神経医療研究センター)精神保健研究所社会復帰研究部部長を経て、現職。

2003年に研究事業としてACT-Jを立ち上げ、現在はNPO法人リカバリーサポートセンターACTIPSの理事として、活動を支える。そのほか、ACT全国ネットワーク代表幹事や、当事者の視点を活動の中心に据える認定NPO法人地域精神保健福祉機構(通称・コンボ“COMHBO”)の共同代表理事なども務めている。

『精神科病院を出て、町へ—ACTがつくる地域精神医療』(岩波書店)、『病棟に頼らない地域精神医療論—精神障害者の生きる力をサポートする』(金剛出版) 監修など著書多数。

定員・参加費

定員 100人(先着順)

参加費 1,000円(当日会場でお支払いください)

お申し込み方法

参加希望のすべての方の

①お名前(ふりがな)②郵便番号・ご住所 ③TEL・FAX④職業を明記の上、Eメール、FAXのいずれかでお申し込みください。ホームページからも申し込みます。

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

参加票を送付しますので、当日ご持参ください。

お申し込み・問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団

「精神保健福祉講演会」係

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

TEL:03-5540-7446 FAX:03-5565-1643

Email: outreach@asahi-welfare.or.jp



朝日新聞東京本社 読者ホール

都営地下鉄大江戸線築地市場駅「A2」出口すぐ

東京メトロ日比谷線東銀座駅、築地駅の各駅から徒歩約10分

JR新橋駅より徒歩約15分